



本誌は共同募金の
配分金によって作
られています。



京丹波町社協だより

ほほえみ

第22号

平成25年1月17日発行

合併後初となる 第1回福祉まつりを開催しました

雨が降る寒い空模様でしたが、町内外から多数の方にご参加いただき盛大に開催することが出来ました。

このイベントでは、社協職員だけでなく丹波・瑞穂・和知地域のボランティアの方々も共に一つとなり取り組みました。

今後も、このイベントを続け、さらなる“京丹波町福祉”の発展につなげていきたいと思ひます。

もくじ

- 理事・監事の新春メッセージ …… 2
- 第1回福祉まつり …… 6
- ボランティア活動功労者表彰受賞者名簿 … 8
- 社協マスコットキャラクター発表 … 10
- 社協事業の紹介 …… 11
- 京都府社会福祉大会 …… 11
- 共同募金報告・お礼 …… 12
- 寄付お礼 …… 12

謹賀新年

2013年 京丹波町社会福祉協議会

理事・監事新春メッセージ

新しい年のスタートにあたり、社協理事・監事18名から、それぞれのメッセージをお届けします。

年頭にあたり

はせ たかずみ
波瀬 孝澄 会長
(選出/学識経験者)



新春をお祝い申し上げます。
さて、本町においても社会経済状況の激変に伴い様々な生活問題が浮上しております。25年の事業・活動は社会福祉法の基本理念である地域住民の「福祉の充実」、福祉課題を持つておられる方々、高齢者、障がい者、子育て中のお母さんの悩み、負担が少しでも軽減できるように、ただ漠然と事を進めるのではなく、住民の皆様が必要・信頼される社協として役員一同、地域福祉の向上、充実に努めて参ります。
(京丹波町豊田)

共に生きる

たにがき いさむ
谷垣 勇 副会長
(選出/学識経験者)



住民の意識変化が見られる中で、地域の繋がりを強くする「向う三軒両隣」と昔から言っている近所の付き合いが強く求められる。
一人暮らし高齢者が孤立化しつつあるが、まず親子家庭との絆が強く求められ、また周囲の繋がりが大事である。
そのためには、地域一人ひとりが地域社会を支えていくために考える事が大切だと思ふ。
(京丹波町水原)

Tanigaki Isamu

Hase Takazumi

共に生きる

つきやま しげはる
築山 茂治 副会長
(選出/学識経験者)



退職後は農業者の立場で、地域を守る様々な取組に参加してきましたが、平日に集落内を車で走っていても人に出会わないような日が増えてきました。「福祉」の課題は膨大ですが、気負わず、人と人とのつながりを大切に、住み慣れた地域が荒廃することなく、安心して生活できるように、努めていきたいと思ふ。
(京丹波町小畑)

家庭も地域も

たなか つよし
田中 強 理事
(選出/民児協)



隣近所や地域で「おはよう」「こんにちは」と気軽にあいさつができていますでしょうか？お互いに上手にコミュニケーションをとることが出来れば、少しでも過ごしやすい生活が送れるのではないのでしょうか。
明るい声かけと環境づくりで、毎日を楽しんで過ごしたいものです。実践をよろしくお願いたします。
(京丹波町鎌谷中)

Tanaka Tsuyoshi

Tsukiyama Shigeharu

心と支援の

ネットワークを

いしだ みえ
石田 美恵 理事
(選出/民児協)



今、社会全体が人間関係の希薄化となり、高齢者や子ども達を取り巻く環境は大きく変化しています。皆さんが安心安全で心豊かな生活を送っていただけるように努めていきたいと思っています。「支える喜び、支えられる喜び」の声に地域包括支援の役割の重要性を益々感じています。
(京丹波町蒲生蒲生野)

「人と人」のつながりが
地域福祉力を高めます

かたやま まさき
片山 勝紀 理事
(選出/民児協)



少子高齢化社会で家族や地域における無縁化を痛切に感じる今日、住み慣れた地域のなかで安心して毎日が暮らせるよう隣近所が助け合い、支え合うことが大切です。
地域のみんなが社協活動を理解し、参加することで「人と人」のつながりが地域福祉力のレベルアップにつながるものと思ふ。
(京丹波町広野)

Katayama Masaki

Ishida Mie

目くばり、気くばりの
地域づくりを！

たかはし よしまさ

高橋 由政 理事

(選出/区長会)



京丹波町は少子化と高齢化が進む中で、親子との絆が低下しつつあり、一人暮らし高齢者・高齢者のみの世帯が多くなっています。地域での民生委員をサポートするかたちで、住民みんなが「目くばり、気くばり」をして、地域から救済の手をさしのべ、誰もが安心して暮らせる京丹波町にしていきます。

(京丹波町水原)

Takahashi Yoshimasa

共に支え合う
地域づくり

しかた としかず

四方 敏一 理事

(選出/区長会)



新年明けましておめでとうございます。私の住む集落も、間違いなく少子・高齢化が進んでいます。お年寄りと子どもを大切にす地域づくり、身近な人と人が助け合う地域づくり、いつまでもそんな集落であってほしいと思います。一人で背負う荷物も共に分け合い、それでもの時に頼れる社協でありたいと考えます。

(京丹波町本庄)

Shikata Toshikazu

福祉コミュニティ
づくりを

うへだ ひでお

上田 秀男 理事

(選出/区長会)



新年にあたり皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げます。昨年より丹波地区区長会長に推挙され、充職の社協理事に就任しております。少子高齢化社会を迎え、社会福祉協議会は多様なニーズに対応されなくてはなりません。福祉コミュニティづくりと福祉の推進を目指すため、一層ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(京丹波町曾根)

Ueda Hideo

高齢化社会の
福祉活動は

のぐち としかず

野口 利和 理事

(選出/老人クラブ連合会)



少子高齢化社会の中で、京丹波町は34・3%と高齢化率が高い現在、ボランティアや福祉活動をされている人の大半が高齢者であり、これからの地域福祉を支えていく人たちが、さらに高齢化していく社会を社協や行政だけに任せるのではなく、私たち一人ひとりが力を合わせ取り組まなくてはならない大きな課題と考えています。

(京丹波町升谷)

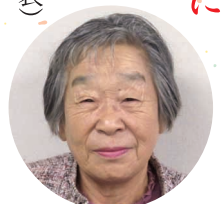
Noguchi Toshikazu

仲間の輪を広げるために
一歩一歩を大切に

たばた みさこ

田畑 美さ子 理事

(選出/ボランティア代表)



現在は高齢化社会となり、若い人たちは仕事や子育てに忙しくボランティア活動に参加する人が減ってきている。そんな時代背景の中でのボランティア活動は、ささやかな活動でも意識を高め、何とか仲間の輪を広げていくことが重要と考えております。一歩一歩を大切に前進していきましょう。

(京丹波町蒲生蒲生野)

Tabata Misako

同一サービスの
提供を目指して

いちたに しずお

一谷 静夫 理事

(選出/福祉団体・機関)



町合併に伴う社協の組織統合も8年目に入り、色々とその運営上難しい問題がある。これまで、旧町社協独自でそれぞれの地域実情に合った事業を展開してきた。これを統一して、京丹波町内に住んでいる全ての人に、同一サービスを提供することは難しいが、止むを得ない事だと思ふ。

(京丹波町口八田)

Ichitani Shizuo

「ありがとう」と
「お互い様」の気持ちで

てらたに こと

寺谷 すま子 理事

(選出/女性の会)



少子高齢社会が加速する時代に、住み慣れた地域で安心して住み続けていきたいと願う人は多いと思います。今自分ができることは、身近な人に笑顔とやさしい言葉かけをすることだと思っています。ありがとうとお互い様の気持ちを持ち支えあっていきましょう。

(京丹波町大朴)

「住民の笑顔」こそ
地域福祉の原点

えもと まさあき

江本 正昭 理事

(選出/福祉事業団体)



私の住む和知北部地域は、京丹波町の中で最も少子高齢化が進行していますが、子どもから高齢者まで元気で活動されています。地域社会の中で互いに支え合いながら毎日笑顔で元気に暮らせることが福祉の原点であり、社協の重要な役割といえます。

今後とも、社協が行政、関係機関等と連携して地域福祉の推進に努めていくことが大切です。

(京丹波町下栗野)

Emoto Masaaki

Teratani Sumako

地域福祉活動の
充実を

しのづか のぶたろう

篠塚 信太郎 理事

(選出/町議会)



福祉の原点は地域社会のつながりや支え合いであります。しかし、少子高齢化や過疎化の進行により、孤立・孤独社会の進展や地域力の弱体化が見られます。これらの対策として、社協では、「共に生きる福祉のまちづくり」を基本とした活動を進めていくために、理事として、地域福祉活動の充実と福祉関係機関との連携を図る活動に取り組んでまいります。

(京丹波町実勢)

在宅で安心した
暮らしを

おかもと さとみ

岡本 佐登美 理事

(選出/町行政)



京丹波町では、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、医療・介護・保健・福祉のサービスを一体的に提供できるまちづくりを積極的に進めています。

皆さんも、地域で声を掛け合う見守り体制を作っていたり、支え合う地域福祉の推進にご協力をお願いします。

(京丹波町蒲生)

Okamoto Satomi

Shinoduka Nobutarou

それぞれが支え合う
幸せな地域を目指して

あたらし つとむ

新 勉 監事

(選出/学識経験者)



少子・超高齢社会に直面し、社協の役割もますます重要になります。一層の地域福祉の充実を目指し、住民の安心安全な暮らしが保障されるように努めなければなりません。子育て支援事業の取組みも始まり、子どもから高齢者まで、それぞれが支え合う幸せな地域を目指し、私も住民の一人として頑張ります。

(京丹波町上野)

もっと社協活動の
PRを

えのもと ふじお

榎本 藤雄 監事

(選出/学識経験者)



社協は行政の一機関ではなく、民間団体(社会福祉法人)です。社協といえは身近な地域福祉サービスを提供する組織というイメージがまず思い浮かびます。しかし高齢者や障がいを持つ人には必要不可欠な組織であるものの、取り組みが非常に幅広いため、よくわからない人が多いです。福祉の拠点としての理解が必要だと思えます。

(京丹波町下栗野)

Enomoto Fujio

Atarashi Tsutomu

④講演会は良くわかる話で感動したと多くの感想をいただきました／⑤社協各事業もパネルや訪問入浴の浴槽を展示／⑥くるみの会さんによる「小松菜入り蒸しパン」の試食コーナーも好評／⑦キッズふれあい広場では子育てサークルさくらんぼさんの指導のもとクリスマスリース作りが行われました



第一回福祉まつり

主催 京丹波町社会福祉協議会
 京丹波町社協ボランティアバンク運営委員会
 後援 京丹波町

新たな

歩

京丹波町社協が誕生して、7年目となる昨年11月23日(祝)和知ふれあいセンターにて、合併後初の「福祉まつり」を開催し、町内外から400名を超える参加者がありました。



旧町時代に、それぞれの社協で開催していた福祉まつりが、今回「京丹波町社協」として、新たな一歩を踏み出しました。

「わちレイナニフラワーズ」の皆さんによる『フラダンス』で華やかに幕を開けた福祉まつりでは、

これまで長きにわたり町ボランティアバンクに登録し活動を続けてこられた個人・団体の方々に社協会長から「感謝状」の授与のほか、ボランティア団体活動パネル展示▼社協事業紹介コーナー▼共同作業所自主製品販売▼ふれあいバザー▼くるみの会試食コーナー▼



①オープニングを飾っていた「わちレイナニフラワーズ」によるフラダンス／②個人ボランティア、ボランティアサークルの代表者7名に感謝状を授与／③三地区のボランティアバンクが合同で行った「ふれあいバザー」



第1回 福祉まつり

主催 京丹波町社会福祉協議会・京丹波町社協ボランティアバンク運営委員会 後援 京丹波町

心豊かに生きていくために
講師 川村 妙慶 氏



④



⑦



⑥



⑤



「心の問題」に取組まれている川村^{みよあけ}妙慶氏より「心豊かに生きていくためには」と題し、「自分を他人と比べる必要はない、自分自身を大切に」と日頃の心の持ち方、考え方について講演いただきました。

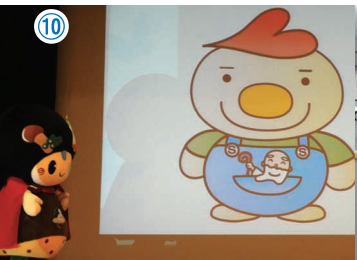
参加者からは、「心温まる話で良かった」「自分の反省や考えさせられることが多くあった」という講演の感想の他、「地域のボランティア活動が詳しく分かり良かった」「第2回、3回と続いていく事をねがっています」と次回に向けての期待の声もいただきました。

新たな一歩として踏み出したこのイベントを、将来続けることで、京丹波町の福祉力が二歩、三歩、高まる機会となるよう今後も取り組んでいきたいと考えております。

午後からは、僧侶でありながらラジオのパーソナリティーとして

協力団体模擬店▼介護用品展示販売▼社協マスコットキャラクター発表などを行いました。

かわむら



⑩



⑨

⑧ アリーナの周囲にはボランティアサークル活動紹介パネル 52 枚が展示され、改めて多くの方々の支えで地域福祉が成り立っていることを確認できました／⑨ 屋外では雨天のなか、協力団体の模擬店や社協・共同作業所の模擬店でにぎわいました／⑩ 社協マスコットキャラクターの発表には、味夢くんも駆けつけていただき会場を盛り上げていただきました



⑧



ボランティア活動功労者表彰

受賞者名簿

ボランティア個人 (297名)

1) ボランティア個人 297名を代表して、大塚政雄様 (グリーンハイツ)、田中幸枝様 (鎌谷中)、今西はるゑ様 (大倉) に授与 / 2) ボランティアサークル 39団体を代表して、京丹波町食生活改善推進員協議会、竹野ほほえみの会、収集ボランティアめぐみ、朗読ボランティアこだま会の代表者へ授与

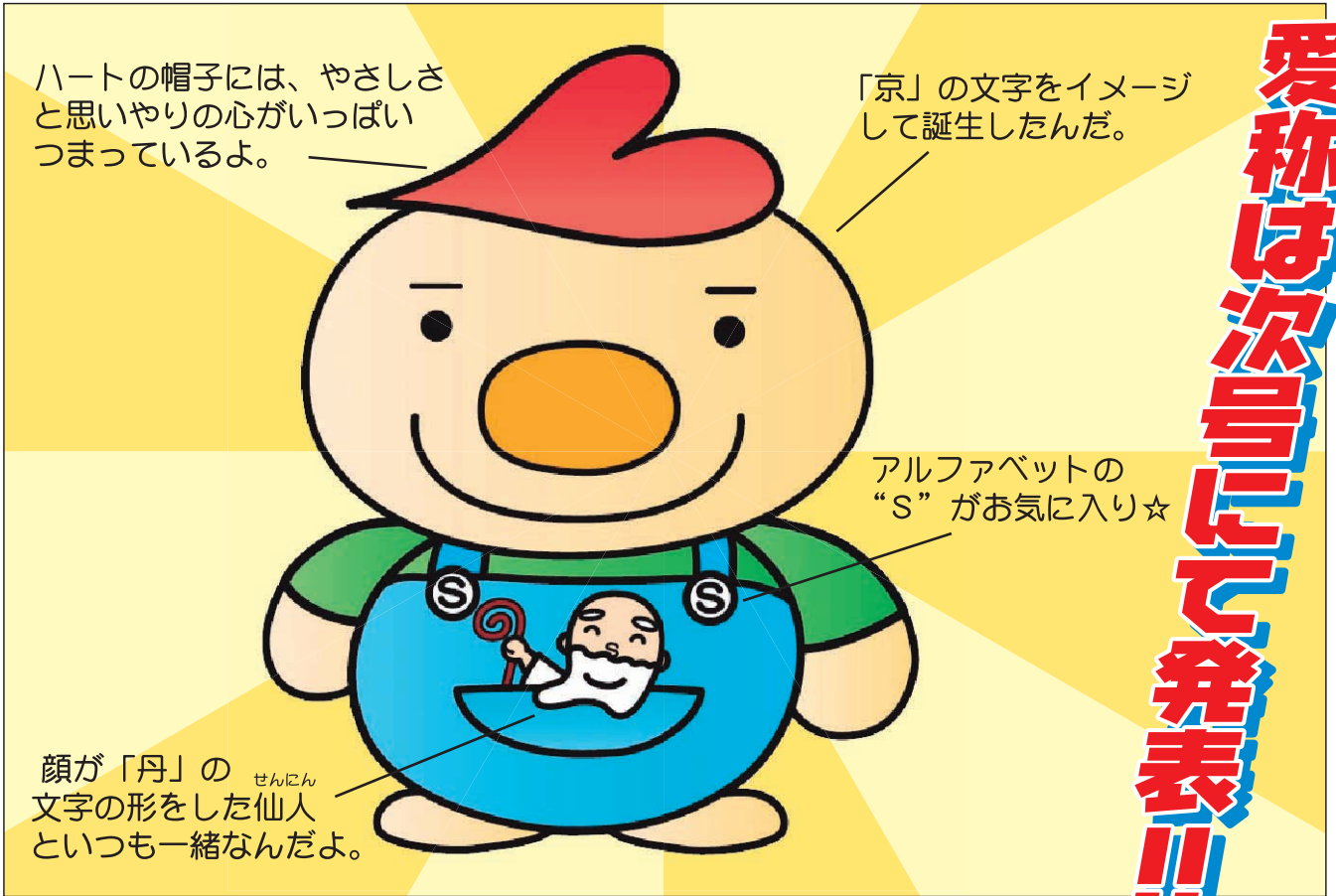
市	須	新水	西	鎌	下	中	辻
森	知	戸	階	倉	村	村	尾
吉田	荒瀬	山久	徳岡	徳島	西垣	中原	原澤
田田	田井	田岡	田島	田島	田島	田島	田島
ふ苑	春し	照治	富美	敬美	富美	芙美	公知
子子	美江	子野	子代	子代	子代	子代	子代

黒	尾	白	実	上	豊	富	院	曾	蒲	蒲	上
瀬	野	土	勢	田	田	田	内	根	生	生	野
藤船	山藤	大木	細山	立山	小森	小森	滝本	熊谷	中江	竹元	中山
田越	内田	槻村	井内	野森	森本	谷本	江元	野林	山口	山口	山口
悌文	す敏	美佐	まさ	あさ	す道	真智	和津	ゆち	ち嘉	マツ	澄鈴
子子	子江	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子

水	妙	粟	鎌	水	大	和	橋	知	野	駒
吞	寺	野	谷	原	朴	田	爪	野	辺	前
津松	渡今	高田	高橋	高橋	西田	西田	今町	松山	貞馬	上澤
田井	辺西	中橋	橋橋	橋田	山川	元村	本守	山本	山本	山本
耕吉	圭子	文幸	絹一	巖心	光男	政子	尚子	博子	栄子	美子
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

大	篠	大	市	升	中	質	質	猪	質
迫	原	倉	場	谷	山	美	美	和	志
堀堀	福嶋	大大	井山	中山	中山	中山	中山	中山	中山
井	田田	田田	田田	田田	田田	田田	田田	田田	田田
昭悦	菊し	芳枝	まさ	さち	あや	久美	春千	美千	文子
子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子	子子

マスコットキャラクター誕生!!



ハートの帽子には、やさしさ
と思いやりの心がいっぱい
つまっているよ。

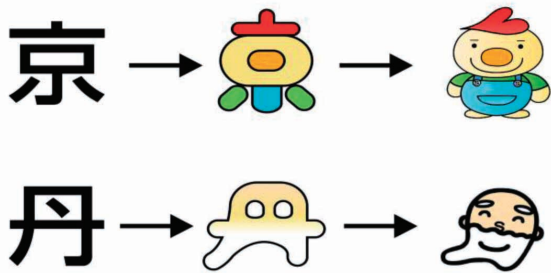
「京」の文字をイメージ
して誕生したんだ。

アルファベットの
“S”がお気に入り☆

顔が「丹」の せんじん
文字の形をした仙人
といつも一緒なんだよ。

愛称は次号にて発表!!

誕生までの記録



プロフィール

- 誕生 2012. 11. 23
- 性別 男の子
- 好きな食べ物 黒豆の枝豆
- 性格
素直で思いやりがある。顔に似合わず力もち。
おじいちゃん、おばあちゃんが大好き。
- ★ 仙人
京丹波町の自然や文化、歴史など何でも知っている。
困った時はやさしくアドバイスをしてくれる。

平成二十四年十一月二十三日、「第一回福祉まつり」の会場にて京丹波町社会福祉協議会のマスコットキャラクターが誕生しました。

このキャラクターを通して、住民の皆さまに、地域のつながりを大切にしながら「共に生きる豊かな福祉のまちづくり」を目指して地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉・ボランティア活動推進などに取り組む社協の活動を身近に感じてもらいたいと思っています。

愛称は公募形式を採り、行政文書と一緒に応募用紙を配布させていただいた他、町内の小中学校にもご協力いただきました。その結果、応募期間内（十一月二十三日～一月十八日）には幅広い年齢層の方から素敵な愛称がたくさん集まりました。

今後は愛称選考委員会により審査を行い、次号「社協だより」や「京丹波町社協ホームページ」等を通じて最優秀賞一点を発表させていただきます。ご協力ありがとうございました。

住みなれた地域で安心して暮らすお手伝いをします

社協サービスの紹介

社協では、介護保険サービスの他にも、住みなれた地域での生活が継続できるように様々な事業を実施しております。

訪問理美容サービス (高齢者生活支援事業)

理美容院に出向くことが困難な高齢者等を対象に、登録された理美容師が自宅へ訪問し、理美容を行います。

利用料 1回1,000円

申込み先 各地区担当の民生委員さまを通じてお申込み下さい。



【申込み・お問合わせ】

京丹波町社協本所・瑞穂支所 86-1440
丹波支所 82-0126
和知支所 84-1833

京都府知事表彰、京都府社会福祉協議会会長表彰、京都府共同募金会会長表彰を受賞!!



昨年9月16日、京都テルサにおいて第61回京都府社会福祉大会が開催され、『京都府知事表彰』と『京都府社会福祉協議会会長表彰』『京都府共同募金会会長表彰』に、京丹波町から次のみなさまが表彰を受けられました。おめでとうございます。

◆社会福祉事業・ボランティア功労者知事表彰 (敬称略・順不同)

社会福祉事業特別功労者 一谷 静夫 (社協理事)

ボランティア団体 トミの会 (和知地区)

◆京都府社会福祉協議会会長表彰・感謝

民生委員・児童委員特別功労者 中安 幸代 (丹波地区)

社会福祉事業協力者 横山 義雄 (丹波地区)

◆京都府共同募金会会長表彰・感謝

法人・団体寄付 梅田仏教会 (瑞穂地区)



▲右から、受賞された一谷様、中安様、十三の会(堀代表)様

善意のご寄付

ありがとうございます！

みなさまから寄せられた善意は、社会福祉事業に大切に使用させていただきます。

(平成二十四年九月一日〜十二月三十一日まで)

◆本所・瑞穂支所扱い

【一般寄付】

橋爪 淵上 富雄 亡父の供養として
 水原 軽尾 昌泰 亡祖父の供養として
 和田 奥 平 亡母の供養として
 水原 小川 大啓 亡母の供養として
 猪鼻 坂本 博子 亡夫の供養として
 八田 中西 幹夫 車椅子借用のお礼に
 保井谷 真野 明 亡父の供養として
 橋爪 山下 靖夫 福祉に
 下大久保 第27回下大久保ふれあい文化祭
 井脇 上西 悟 亡父の供養として
 須知 辻 雅 亡父の供養として
 水原 金光教須知教会 福祉に
 水原 大正琴八重さくら 福祉に
 水原 梅垣 満 亡父の供養として
 栗野 岬 百合子 亡夫の供養として
 口八田 一谷 ちよ 見舞い返しを廃して
 質美 質美地域振興会 福祉に
 大朴 ふれあい祭りバザー売上金を福祉に
 大朴 大朴寿会 福祉に
 橋爪 山下 靖夫 福祉に
 千葉県野田市 小寺 久江 福祉に
 妙楽寺 上田 弘夫 福祉に
 東又 川島ひで子 見舞い返しを廃して
 京丹波町女性の会 福祉に

【物品寄付】

水原 塩田美枝子 野菜多数
 橋爪 竹村 孝一 野菜多数
 八田 淵上さよ子 野菜多数
 和田 田中 友子 野菜多数
 和 上田 幸恵 野菜多数
 橋爪 淵上さよ子 野菜多数
 質志 中野 賤雄 野菜多数

◆丹波支所扱い

【一般寄付】

蒲生 林 清司 車椅子借用のお礼に
 尾長野 田中 葉子 福祉に
 昭和三十三年度蒲生野中学校 卒業生同級会参加者御一同 福祉に
 実勢 湊 一男 福祉に
 尾長野 尾長野深山会ふれあいサロン 福祉に
 南丹市 榎親愛 代表安達耕一郎 福祉に
 実勢 北村 勝 亡母の供養として
 豊田 松村 淳史 亡父の供養として
 須知 谷口 昇 叙勲受章記念として福祉に
 上野 樹山 静雄 亡父の供養として
 黒瀬 黒瀬ふれあいサロン 福祉に

【物品寄付】

笹尾 笹尾ふれあいサロン 炭、紙おむつ多数
 グリーンハイツ 寺田 修 様

◆和知支所扱い

【一般寄付】

吉田 学 亡父の供養として
 白波 瀨勝夫 亡妻の供養として
 白波 瀨澄子 福祉に
 山口 米三郎 福祉に
 出野 範夫 亡母の供養として
 梅原 安子 福祉に
 栗林 耕治 亡息子の供養として
 堀 幹男 亡父の供養として
 今西 立子 亡夫の供養として
 野間 光代 福祉に
 坂原 野間 様 ベッド借用のお礼に

数字で見る 京丹波の福祉



平成25年1月1日現在 ※()内は前号(H24.9.1)との比較

	丹波	瑞穂	和知	町全体
人口	8,029人 (-28)	4,774人 (-9)	3,451人 (-17)	16,254人 (-54)
65歳以上人口	2,456人 (+6)	1,733人 (+11)	1,466人 (+8)	5,655人 (+36)
高齢化率	30.6% (+0.2)	36.3% (+0.3)	42.5% (+0.5)	34.8% (+0.3)
ボランティア登録者数	0~14歳	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)
	15~64歳	103 (+5)	71 (+4)	78 (±0)
	65歳以上	180 (+5)	94 (+1)	172 (±0)
	合計	283 (+10)	165 (+5)	250 (±0)

共同募金にご協力 ありがとうございます

今年度(平成24年)の募金総額

■赤い羽共同募金 **3,241,845円**

個別募金 3,092,674円 | イベント募金 52,615円
 街頭募金 15,889円 | 窓口・職域 80,667円

この内の約7割が、来年度京丹波町に配分され地域福祉活動の推進に活用されます。

■歳末たすけあい募金

2,130,456円

今回お寄せいただいた募金は、全額京丹波町の援助に使われます

